

令和5年9月8日
北九州市産業経済局

報道機関各位

政令市初！

「北九州 DX 大賞」の創設

市内企業の DX 優良事例表彰制度をスタートします！

北九州市では、市内企業が実施するDXの取組を支援することにより、生産性向上につなげ、競争力の維持向上を図っています。この取組みを通じて、経済産業省が全国の中堅・中小企業向けに実施する「DX セレクション」において、これまで全国 8 社が受賞している中、北九州市の企業が3社を占めるなど、市内企業のモデルとなる企業が多く生まれつつあります。

このような中、より多くの DX による事業変革企業創出や、市内企業のDX取組みレベルの引き上げを図ることを目的に、DX優良事例となる取組みを実施している市内中小企業を表彰し、モデルケースとして取組事例を発信する表彰制度である「北九州 DX 大賞」を開始いたしますのでお知らせいたします。なお、本表彰制度は政令市初の取組みになります。

記

1 募集期間

9月11日(月)～10月27日(金)

※受賞者は12月上旬に公表予定です。

※9月19日(火)にオンライン説明会を開催する予定です。

2 対象企業

北九州市内に本社もしくは事業所を有する中小事業者

3 審査項目

経済産業省が、企業価値向上に向け実践すべき事柄としてとりまとめている「デジタルガバナンス・コード」の項目を中心に審査します。

4 表彰数

グランプリ 1社、準グランプリ 1社、優良事例 複数社

※グランプリ、準グランプリの2社については経済産業省「DX セレクション」に推薦します。

※受賞企業はさらに DX を進めていくための支援を受けられるなどの特典があります。

5 添付資料

北九州 DX 大賞募集チラシ

【問合せ先】

産業経済局 次世代産業推進課

担当:大庭(課長)、佐藤(担当係長)

電話:093-582-2905

政令市
初！

DX優良事例を表彰します！

北九州DX大賞

応募期限 10月27日まで

経済産業省「DXセレクション」において、これまで全国で8社が受賞している中、北九州市の企業が3社を占めるなど、市内企業のモデルとなる企業が多く生まれつつあります。このような中、より多くのDXによる事業変革企業創出や、DXを一層推進していくことを目的に、DX優良事例となる取り組みを実施している市内中小企業を表彰し、モデルケースとして取組事例を発信する表彰制度である「北九州DX大賞」を開始いたします！

申請のメリット

- ・申請作業を通じて自社のビジネスモデル等が整理され、課題発見や解決策の策定に繋がります。
- ・さらに受賞企業には以下の特典があります。（補助・免除には上限があります、詳細は別途ご案内します）
 - ①受賞の証となるロゴマークを付与します。自社のPRにご活用いただけます。
 - ②市のホームページや、市主催のイベントにて取り組みをプロモーションします。
 - ③翌年度以降の市等が審査を行う制度の一部において審査加点等の優遇措置を行います。
 - ④市が連携協定を締結している企業などが実施するDX研修に参加する際の費用を一部補助します。
 - ⑤企業のDXをさらに進めるためのDX人材育成にかかる経費を補助します。
 - ⑥さらなるDXを進めるための支援を実施します。
 - ⑦経済産業省のDXセレクションに推薦します。（グランプリ・準グランプリ受賞企業限定）
 - ⑧市が主催するDXに関する展示会での出展料を免除します。（グランプリ・準グランプリ受賞企業限定）

審査項目

経済産業省が、企業の価値向上に向け実践すべき事項としてとりまとめている「デジタルガバナンス・コード」の項目を中心に審査します。

- ①ビジョン・ビジネスモデル
- ②戦略
- ③組織づくり・人材・企業文化に関する方策
- ④ITシステム・デジタル技術活用環境の整備に関する方針
- ⑤成果と重要な成果指標
- ⑥ガバナンスシステム
- ⑦北九州市域への好影響

※裏面もあります

募集対象

北九州市内に本社もしくは事業所を有する中小事業者

表彰数



グランプリ…1社



準グランプリ…1社



優良事例…複数社

※受賞者は12月に公表予定

応募方法

申請は、市が指定する所定の様式（Microsoft Excel）に自社のお取り組み内容等をご記載いただき指定のメールアドレスまでご送付をいただきます。申請書のほか、審査の参考となるような資料を添付いただくことも可能です。

【応募要領・申請書のダウンロード方法】

「北九州市DX推進プラットフォーム」のホームページにて要領や申請書を公開しています。

下記URL、もしくは右の二次元バーコードからアクセスしてください。

<https://ktq-dx-platform.my.site.com/DXmain/s/>



ページ下部の事務局からのお知らせから北九州市DX大賞の募集についてという記事にアクセスしてください。

※記事がない場合は、ページ最下部のすべて表示をクリックしてください。

お問い合わせ先

北九州市 産業経済局 地域経済振興部 次世代産業推進課 担当：畑中、佐藤

電話番号：093-582-2905 メールアドレス：san-jisedai@city.kitakyushu.lg.jp

※メールでお問い合わせいただく際は、件名の先頭に【DX大賞】とご記載ください。

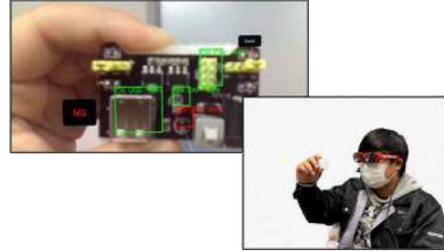
株式会社リョウワ（油圧装置メンテナンス業/福岡県北九州市）【法人番号】9290801015481

<推薦>  Kitakyushu city Lab



<企業概要>

当社は、油圧装置の販売・修理・メンテナンスを手掛け、来年で創業55年を迎えます。昨今の様々な外的要因による電気駆動式への置き換え需要に伴い、自社の強みを活かしてAI外観検査システム市場に参入しました。タイ大学内LABOと同時開発できる環境を整備するなど社内DXを進めながら、新システムの開発・販売で製造業の生産性向上に寄与してまいります。



<取組概要>

- 【デジタルイゼーション】・開発環境の見える化(GitHubの活用で日本とタイのグローバル開発の効率化)
- 【デジタルライゼーション】・新業務システム(見積・販売・給与・会計)導入によるデータ連携
 - ・外観検査システムのサブスクリプションによる販売
- 【DX】・自社オリジナルのクラウドAI外観検査システム[CLAVI®]の開発(スマホやMRでの部品検査)
 - ➔ 初期投資20万円、月2万円の低価格なクラウドAI検査システムのサービス提供
 - ・MRを活用した油圧装置の遠隔メンテナンスサービス(2022年度より実証実験開始予定)

準グランプリ

グランド印刷株式会社（印刷業/福岡県北九州市）【法人番号】1290801005317

<推薦> 北九州市IoT推進ラボ

【企業概要】 URL: <https://grand-in.co.jp/>
資本金：12,000千円
従業員数：55名
代表者：代表取締役 小泊 勇志



【事業概要】

- ・シルクスクリーン印刷、デジタルプリントを主体とした印刷会社。金属、プラスチック、ビニール、布など素材を選ばず印刷できるのが特徴で、屋外看板や垂れ幕、POPなど販促物の製作を主力商品とする。

【企業理念】

- ・新たな価値の創造で、世の中を楽しく、豊かにする。



取組概要

【DXによって実現したい経営ビジョン・ビジネスモデル】

- ・シナジー効果の見込める各事業をデジタルによって1つに統合。それぞれの事業が互いに連携し、理念や価値観で繋がった「連邦多角化経営」を目指す。また、従業員の自己実現に向けて楽しく働ける職場環境と物心共の豊かさを追求する。

【デジタル人材の確保に向けた取組】【デジタル技術活用の取組】

- ・社内業務の効率化・省力化や顧客視点でのサービス改善において、自ら問題を見つけ改善案の指示を出せる人材を「DXプロデューサー」と定義し、社内で育成している。また、各従業員にあった「学び」を計画的に行っていくプロジェクトを立ち上げる。
- ・自社開発のオリジナル基幹システムとWebサイトや各種Webサービスを連携させた社内ITシステムで情報共有している。

【成果】

- ・年に2～3個の新規事業が立ち上がり、それらを育てながらデジタル技術によって既存業務の効率化・省力化を行う企業風土となった。また、子育てしながらも働きやすい会社となり女性従業員が全体の75%になった。
- ・コロナ禍でも年間7000社の顧客を獲得。既存事業の落ち込みを新事業でカバーし、過去最高売上を3年連続更新した。

審査員特別賞

有限会社ゼムケンサービス（特定建設業/福岡県北九州市）【法人番号】3290802003607

<推薦> 北九州市IoT推進ラボ

【企業概要】 URL: <https://www.zmken.co.jp/>
資本金：20,000千円
従業員数：9名
代表者：代表取締役 籠田 淳子



Zm'ken



【事業概要】

- 女性の生活者としての視点や細やかな感性を生かした設計力、そして顧客の価値を空間デザインに落とし込むブランディング力を武器に、「繁盛する場づくり」で実績を上げている従業員女性割合の多い建設会社

【企業理念】

- 「オモイをカタチに 建築は統合芸術」

取組概要

【DXによって実現したい経営ビジョン・ビジネスモデル】

- 女性技術者・多能工育成の20年以上の実績を基にしたデジタルサービスを、今後は日本全国の中小建設業に広げ、地域をまもる建設業で多様な人材が働く「新しい建設産業」に向かわせる。女性技術者の人材育成、少しずつ取り組んできたデジタル化・DX、社員全員でITリテラシーを上げながら全社経営に向かう、という一連の仕組みをデジタルサービスにすることで、同社のような全国の地方中小建設業に取組を広げ、人を中心とした建設業界のDXが進化することを目指す。

【デジタル人材の確保に向けた取組】【デジタル技術活用の取組】

- 講師を招聘し、全社員にDXに関する勉強会を実施。建設業においてどのような情報技術が今後有効なのかを考え、DXの土壌づくりをしている。また、自社内では全員にDXについての知識を身に着ける定期的な研修を行っている。
- コミュニケーションツールのデジタル化、データのクラウド共有、モバイル端末の支給等で、いつでもどこでも働ける環境を整備した。

【成果】

- SNSを活用した情報共有や社内稟議の仕組み作成、建設業界の1人あたり売上高平均を超える業績向上を実現した。